

Combi

コンビ
プリム
ベビー

Combi

(シートクッション後ろ側のポケットに保管してください)

コンビ ベビーシート プリムベビー

取扱説明書

品質保証書付



⚠危険 本製品は後向き専用です。

- お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解のうえ、記載された内容に従い正しくお使いください。
- ベビーシートは、正しく取り付けないと、本来の機能を果たさず危険です。しっかりと座席に固定してください。
- 本書は、シートクッション後ろ側のポケットに保管してください。(P6参照)
- P42の品質保証書の欄に必要な事項をご記入ください。

コンビ株式会社

インターネット上で最新のコンビチャイルドシートを
コンビの育児応援サイト「コンビタウン」
<http://www.combibaby.com>

製品にお気づきの点がございましたら、「お客様相談室」までご連絡ください。

お客様相談室 / 〒339-0025 埼玉県岩槻市約上新田271

TEL. (048) 797-1000

FAX. (048) 798-6109

お客様相談室 / 〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場2-1-10
(西日本担当)

TEL. (06) 6263-4031

FAX. (06) 6263-4533

お使いいただく前に

お使いいただく前に

このたびは、コンビ ベビーシートをお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

安全にお使いいただくために

「危険」、「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の、切迫度や大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表示	表示の内容
△ 危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
△ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
△ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性があります。

お使いいただけるお子さまの条件

次の条件をすべて満たすお子さまにお使いいただけます。

- **体重** : ~10kg未満のお子さま。
(参考年齢…新生児~1才ころ)
※新生児とは、体重2.5kg以上かつ生胎週数37週以上
- **身長** : 76cm以下で、ベビーシートに乗せ、**頭頂部**が**本体から上に出ない**お子さま。

△ 低月齢期間のご注意

- **長時間使用の禁止**
長時間連続してのご使用は、お子さまの負担となります。1時間程度を目安に休憩をとるなどしてください。
- **保護者の同乗(ベビーシートとして使用時)**
できるだけ運転者以外に同乗者が乗り、お子さまから目を離さないでください。やむを得ず運転者以外に同乗者がいない場合は安全運転に留意し、休憩時などにお子さまの様子をご確認ください。

もくじ

■ お使いいただく前に	1
△安全にお使いいただくために	1
お使いいただけるお子さまの条件	1
■ 本製品の4つの使いかた	3
■ 各部のなまえ	5
■ エッグショックパッドの取り付けかた (ドゥキッズ4EGをお買い上げの場合のみ) ...	7
■ 幌の使いかた	11
■ インナークッションのはずしかた	11
■ お子さまに合わせた各部の調節	12
■ お子さまの乗せかた	13
■ 幼児ベルト穴位置の選びかた	14
■ 幼児ベルトの長さ調節	15
■ ハンドルの使いかた	16
■ 各部の調節の完了チェック	16
■ ベビーシートとして使う	17
■ 取り付けできない座席	17
■ 安全にお使いいただくために	19
■ 車への取り付けかた	24
■ シートベルトの種類と取り付け上の注意点 ...	25
■ 取り付けの準備(~10kg未満のお子さまに) ...	25
■ 座席への取り付けかた	27
■ 取り付け時の完了チェック	29
■ こんなときには	30
■ ベビーキャリーとして使う	31
■ 持ちかた	32
■ ロッキングチェアとして使う	33
■ お使いいただけるお子さまの条件	33
■ ロッキングの使いかた	34
■ チェアの使いかた	34
■ ベビーカーとセットでお買い上げのお客様に ...	35
■ ご使用の前に	35
■ このようにしてお使いいただけます	36
■ ベビーカーへの取り付けかた	37
■ ベビーシートのはずしかた	38
■ ハンドルと幌の使いかた	38
■ お手入れのしかた	39
■ 製品仕様	41
■ 品質保証書	42

本製品の使いかた

本製品と専用ベビーカーの組み合わせにより、4つの使いかたができます。

身長76cm以下、頭頂部が本体から出ない。

お使いいただく前に

車の中では…
ベビーシート
として

P17~30



体重
参考年齢

新生児 10kg未満
※体重2.5kg以上在胎週数37週以上 (1才ころ)

お出かけのときには…
ベビーキャリー
として

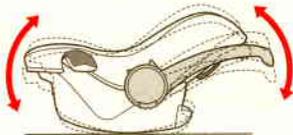
P31~32



新生児 10kg未満
(1才ころ)

お部屋の中では…
ロッキングチェア
として

P33~34



新生児 チェア 9kg
(10ヵ月ころ)

ロッキング
チェア 首が
すわってから 9kg
(10ヵ月ころ)

首がすわるまではロッキングさせず
チェアとしてお使いください。

ドゥキッズ4をお買い上げのみなさまに

お出かけのときには…
ベビーカーとして

P35~38



ファーストベビーカー

新生児 10kg未満
(1才ころ)

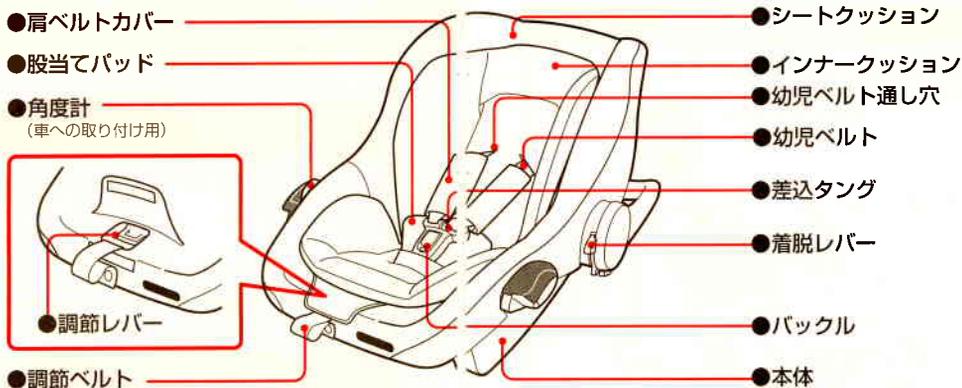
セカンドベビーカー



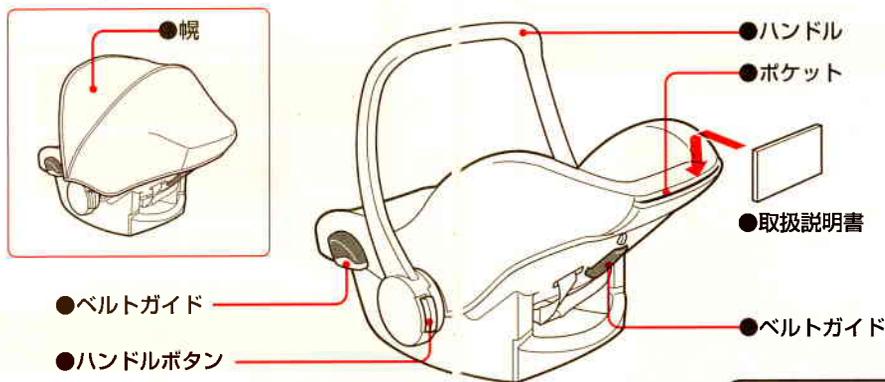
各部のなまえ

ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。

正面



裏面・側面



注意

着脱レバーは、ベビーカーへの着脱時に使用する部品で、ベビーカーに取り付けるとレバーが自動的に下がります。無理に押すと破損のおそれがあります。

●エッグショックパッド



※ドゥキッズ4EGをお買い上げの場合のみ

エッグショックパッドの取り付けかた

(ドゥキッズ4EGをお買い上げの場合のみ)

ドゥキッズ4EGをお買い上げの場合は、エッグショックパッドを取り付けてください。取り付ける場所は、お子さまの体重によって次のように変わります。

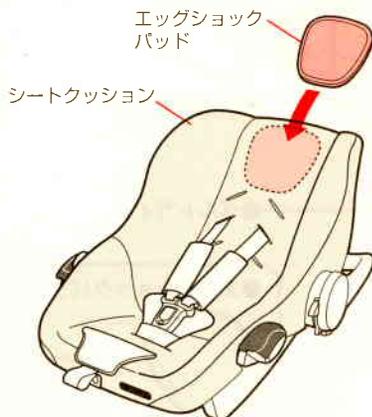
体重6kg未満の場合

- インナークッションに取り付けます。



体重6kg以上～10kg未満の場合

- シートクッションに取り付けます。

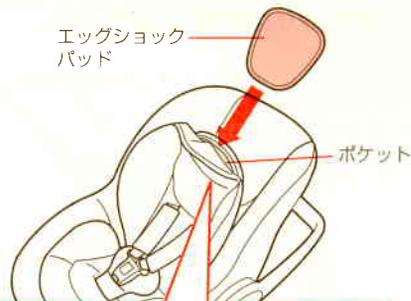


7

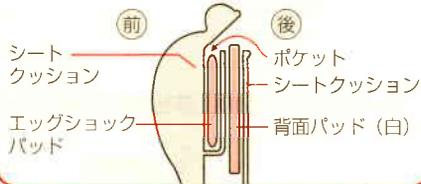
体重6kg未満のお子さまの場合

- インナークッションへの取り付けかた

- 1 インナークッション上部のポケットに、エッグショックパッドを取り付けます。



●シートクッション断面



ドゥキッズ4EGをお買い上げの場合は、お子さまの体重に合わせてインナークッションまたはシートクッションに、必ずエッグショックパッドを取り付けてください。

8

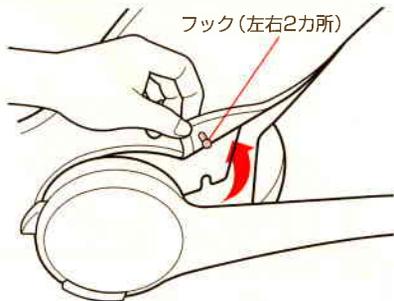
お使いいただく前に

お使いいただく前に

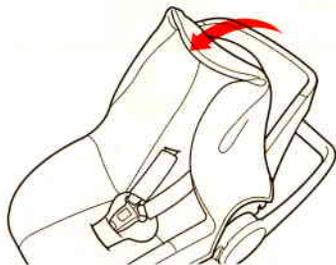
体重6kg以上～10kg未満のお子さまの場合

●シートクッションへの取り付けかた

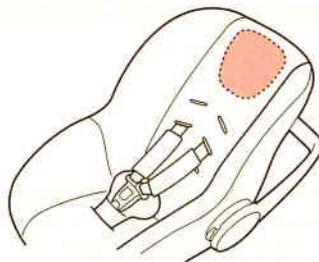
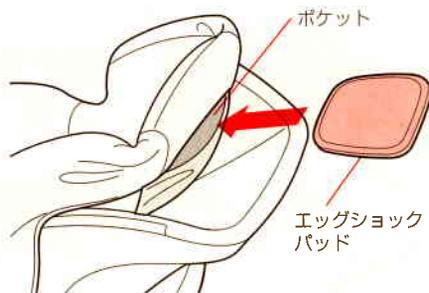
- 1** インナークッションを取りはずしたあと(11ページ「インナークッションのはずしかた」参照)、側面のフック(左右2カ所)ははずします。



- 2** シートクッションの上部を本体からはずします。



- 3** シートクッション裏側のポケットに、エッグショックパッドを取り付けます。取り付けたあと、シートクッション上部を本体にかぶせ、フック(左右2カ所)を本体に取り付けます。



幌の使いかた

幌は、お子さまを強い日射しから守ります。

ハンドルを立てた状態で幌の面ファスナーをハンドルにかぶせるようにしてとめ、ステアーを外側に出し(①)、ベビーシートの上端の縁に合わせてかぶせます。(②)左右のシートクッションフックをはずします。(③)幌の左右のゴムをガイドにかけます。(④)先ほどはずしたシートクッションフックをかけ直し、ゴムがはずれないようにします。

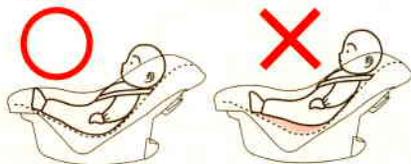


お子さまに合わせた各部の調節

お子さまを乗せ、使用する幼児ベルト通し穴の位置をお子さまの体に合わせてください。



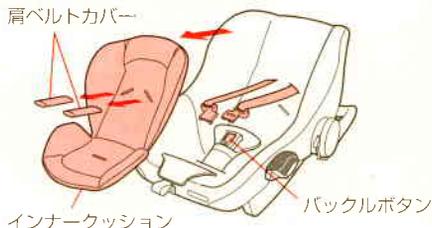
●お子さまをベビーシートに深く乗せてください。



インナークッションのはずしかた

インナークッションは、低月齢のお子さまが、ベビーシートの中で正しい姿勢を保持するためのものです。お子さまの体重が6kgを超えたら、インナークッションをはずして使用してください。

バックルボタンを押して差込タンクをはずし、幼児ベルトから肩ベルトカバーを引き抜き、バックルとベルトからインナークッションを引き抜きます。



警告

●おくるみなど、両足が分らない衣類の着用はおやめください。



●お子さまをタオルなどでくるんだまま、乗せない。
●かさばったベビーウェアを着せたまま、乗せない。
●お子さまを乗せるときには、下図のような乗せかたをしないでください。ベビーシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。



お子さまの乗せかた

- 1 バックルボタンを押して差込タンクを抜きます。



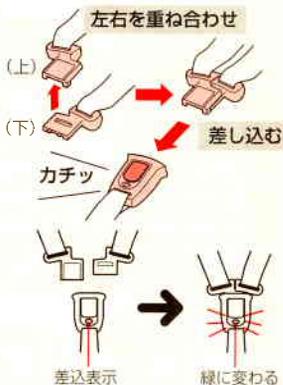
- 2 幼児用ベルトをゆるめて(15ページ参照)から、お子さまを乗せ、左右の幼児ベルトをねじれないように肩からかけます。



警告

左右の幼児ベルトがねじれていないこと。

- 3 左右の差込タンクを重ね合わせから「カチッ」と音がするまで、差込タンクをバックルに差し込みます。



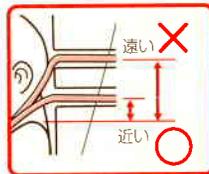
差込表示が緑になったことを確認してください。

- 4 調節ベルトを手前に引き、左右の幼児ベルトがお子さまの体にフィットするように調節します。(15ページ参照)

幼児ベルト穴位置の選びかた

幼児ベルト通し穴の高さの選びかた

幼児ベルトは、お子さまの肩の高さに一番近い位置に通してください。



警告

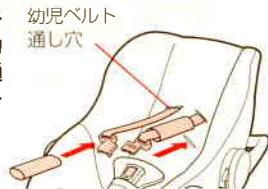
幼児ベルト通し穴の位置がお子さまの体に合っていないと、衝撃が加わったときに幼児ベルトが肩からはずれ、お子さまを正しく保持できません。

- 1 バックルボタンを押して差込タンクをはずし、幼児ベルトから肩ベルトカバーを引き抜きます。

- 2 本体裏側から幼児ベルトを引き抜きます。



- 3 幼児ベルトを、お子さまの体に合った幼児ベルト通し穴に通し、肩ベルトカバーを通します。



- 4 お子さまを乗せ、差込タンクをバックルに差し込み、肩ベルトの位置を確認します。

幼児ベルトの長さ調節

お子さまを乗せて、幼児ベルトがフィットするように長さを調節します。左右の幼児ベルトの長さが同じになるように調節してください。



- 必ずベルトの長さを調節してください。
- 幼児ベルトにたるみがあると、衝突時などにお子さまが飛び出したり、ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。

●幼児ベルトを短くするには

…調節ベルトを引きます。



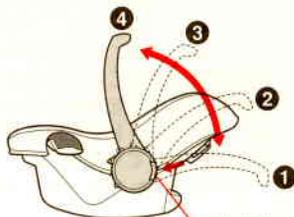
●幼児ベルトを長くするには

…カバーの下の調節レバーを引き上げながら、幼児ベルトを左右同時に手前に引きます。



ハンドルの使いかた

ハンドル両脇の2つのハンドルボタンを同時に押しながら、ハンドルを前後に回転させる。ハンドルの位置は4段階で調節できます。



ハンドルボタン

クポイント

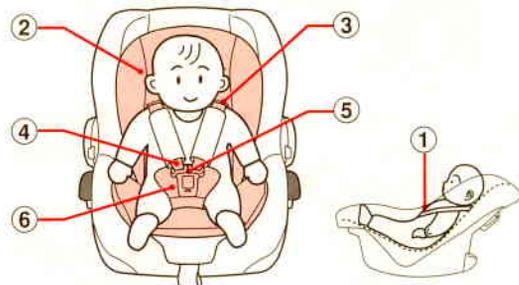


- ハンドルが正しい位置になると、押し込まれたボタンが元の位置に戻ります。
- ハンドルに誤って大きな力が加わることによる破損を防ぐため、ハンドル位置②から④へはロックされない構造になっています。



ハンドルの位置を変えるときは、お子さまの指をはさまないようにご注意ください。

各部の調節の完了チェック



- ① お子さまがベビーシートに深く座っていること。
- ② インナークッションが正しく使われていること。
(体重～6kg未満)
- ③ 正しい幼児ベルト通し穴にセットされていること。
- ④ 幼児ベルトにねじれやたるみのないこと。(お子さまと幼児ベルトの間に、大人の手のひらが入る程度の長さに調節してください)
- ⑤ 差込タンクがバックルに差し込まれ表示が緑色になっていること。
- ⑥ 股ベルトがお子さまの両足の間に通っていること。

ベビーシートとして使う

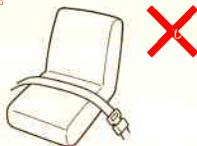
ベビーシートは、交通事故などの場合にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。またベビーシートを使用するときには、必ず保護者の方が同乗してください。

取り付けできない座席

次の条件のいずれかが1つでもあてはまる場合は、その座席ではお使いいただけません。

下記以外の座席でも、ベビーシートをしっかりと取り付けできない場合には使用しないでください。

- シートベルトの付いていない座席。
- 2点式シートベルトの座席。



- シートベルトの長さが極端に短い座席。
- エアバッグ装備の座席。
…サイドエアバッグのみの場合には使用できます。



- ベビーシートのベルトガイドの位置よりも、前方向からシートベルトが出ている座席。
- 進行方向に対して横向き、または後向きの座席。



ベビーシートが取り付けられるのは、3点式シートベルトの車です。

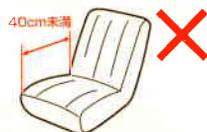
- 3点式シートベルトとは…図のように、腰ベルトの左右と肩ベルトの3点で体を支えるシートベルトのこと。



- 極端なバケットシート。
…座面の中央が極端にへこんでいる座席。
- 座面の凸凹が極端で不安定になる座席。



- 座面の奥行きが40cm未満の座席。
- パッシュプシートベルトの座席。
(オートマチックシートベルト)



- …車の座席に座ってドアを閉めると、自動的にシートベルトを装着してくれる装置のこと。とくに輸入車に多くみられます。

- シートベルトの取り付け幅が32cm未満の場合。



ベビーシートは、前座席・後座席ともに取り付けられますが、より安全な後座席への取り付けをおすすめします。また、前座席に取り付ける場合には、安全性を高めるため、車のシートを後ろにスライドさせての使用をおすすめします。
● エアバッグのついている前座席には、絶対に取り付けしないでください。

安全にお使いいただくために

⚠ 危険

次のような使いかたは、ベビーシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

- 使用条件に適合しないお子さま・座席では、使用しないでください。



- 安全のため、必ず後向きに取り付けてください。前向きでは絶対に使用しないでください。



- 車に取り付けるときは、必ず車のシートベルトで固定してください。

ひもなど、シートベルト以外のもの固定しないでください。



- エアバッグが装着された座席では、ベビーシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。



…サイドエアバッグのみの場合には使用できます。

- 取扱説明書どおりにしっかりと取り付けできないときは、他の座席に取り付けてください。



- 左右の差込タンクを、確実にバックルに差し込み表示が緑色になったことを確認してください。



⚠ 警告

次のような使いかたは、ベビーシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

- お子さまを車内に1人で放置しないでください。日ざしの強い日などには、車内の温度も高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また予期せぬ事故の元となります。必ず保護者の方が同乗してください。



- 幼児ベルトがたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。

…正しい長さに調節してください。(15ページ参照)



- 衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。



- 幼児ベルトに傷が付いたときは、ご使用をやめ、弊社のお客相談室にお問い合わせください。

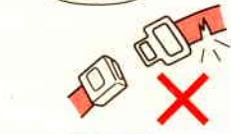


安全にお使いいただくために

警告

次のような使いかたは、ベビーシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

- お子さまがバックルボタンを押してしまう可能性があります。差込タングがバックルからはずれていないことを確認してください。
- 車のシートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けしないでください。
- 車の前座席に、ベビーシートを取り付け、助手席側のドアミラーが見えにくいときは、後座席に取り付けてください。



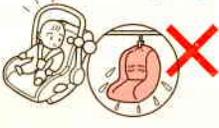
次のような使いかたは、同乗している方に危険をまねくおそれがあります。

- お子さまをベビーシートに乗せていないときでも、必ずシートベルトで固定しておいてください。急ブレーキや衝突時、運転者や同乗者にぶつかり、傷害を及ぼすおそれがあります。
- シフトレバーやパーキングブレーキなどの操作に支障をきたす場合は、後座席に取り付けてください。
- 2ドアや3ドアの車で後座席に人が乗る場合は、助手席に取り付けしないでください。緊急時の脱出の妨げになります。



注意

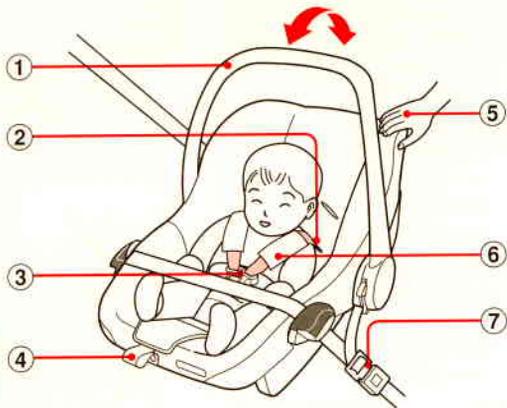
- 直接日光が当たると、本体や差込タングなどが熱くなり、お子さまがやけどをするおそれがあります。お子さまを乗せる前に各部にさわり、やけどをしないことを確認してから使用してください。
- 走行中は、ベビーシートの操作や調節をしないでください。また、同乗している他のお子さまがベビーシートに触らないようにしてください。
- ベビーシートを改造したり、他の部品などと交換しないでください。また、本書に記載されていない取り扱いをしないでください。
- ベビーシートを風雨にさらさないでください。
- 車の座席にクッションや座布団などを敷いたまま、ベビーシートを取り付けしないでください。しっかり固定されません。
- 固定されていない物を車内に置かないでください。急ブレーキや衝突時にお子さまなどに当たるおそれがあります。
- シートクッションなどの縫製品をはずしたまま使用しないでください。また、本製品以外の物と取り換えたりしないでください。(衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります)
- 本製品を車の座席可動部やドアなどに挟まないように十分注意してください。
- 車への乗せ降ろしの際には、ボンネットの上など、不安定で高い場所には置かないでください。



安全にお使いいただくために

⚠ 日常の点検

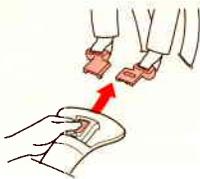
ベビーシートの本来の機能を果たすため、走行前には、次の事項を点検してください。



- ① ハンドルがたった状態であること
- ② 幼児ベルトが正しい穴位置に通されていること
- ③ 差込タンクがしっかりとバックルに差し込まれ表示が緑色になっていること
- ④ 幼児ベルトがお子さまの体にフィットしていること(ベルトをフィットさせてください)
- ⑤ ベビーシートが座席にしっかりと取り付けられていること
- ⑥ 幼児ベルトにねじれやたるみがないこと
- ⑦ 車のシートベルトの差込金具がしっかりとバックルに差し込まれていること

⚠ 緊急時の脱出

事故など緊急時は、保護者の方がバックルボタン(赤色)を押し、幼児ベルトをはずして、お子さまを車外に脱出させてください。



車への取り付けかた

ここでは、シートベルトの種類、取り付け上のご注意、および取り付けかたを説明しています。

※車の座席の形状などにより、取り付けできない場合があります。詳しくは17～18ページを参照してください。

⚠ 危険

- 3点式シートベルトの座席に取り付けてください。2点式シートベルトの座席には、使用しないでください。
- ベビーシートがしっかりと取り付けできない場合は、本来の機能を果たさず危険ですので、他の座席に取り付けてください。
- 車への取り付けは、ひもなど、シートベルト以外のものに取り付けてください。
- エアバッグが装着された座席では、ベビーシートを絶対 사용하지 しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。
※サイドエアバッグのみの場合には使用できます。

⚠ 警告

- 車のシートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けしないでください。
- 助手席にベビーシートを取り付けてドアミラーが見えにくい場合は、後座席に取り付けてください。
- お子さまが乗っていないときでも、ベビーシートは必ずシートベルトで常に取り付けておいてください。
- シフトレバーやサイドブレーキなどの操作に支障をきたす場合は、助手席に取り付けしないでください。
- 2ドア・3ドア車で後座席に人が乗る場合、緊急時の脱出の妨げになりますので助手席にベビーシートを取り付けしないでください。

シートベルトの種類と取り付け上の注意点

ベビーシートは、シートベルトの種類により取り付けかたが異なります。下表をご覧になって、ご使用の車のシートベルトの種類をご確認ください。下表ではわからない場合には、車の取扱説明書をご覧ください。

シートベルトの種類	特徴	取り付け上の注意点
<ul style="list-style-type: none"> ● ELR付き3点式シートベルト ● ELR付き2点式シートベルト … ELRとは緊急ロック式ベルト巻き取り装置のことです。 	通常は、ゆっくりと引くとベルトが自由に入入りし、急ブレーキや衝突などの衝撃を感知したときだけ固定機能が働き、ベルトが固定されるシートベルトです。	ベビーシートは、2点式シートベルトでは、使用できません。
<ul style="list-style-type: none"> ● A/ELR付きシートベルト (チャイルドシート固定機能付きシートベルト) … A/ELRとはALRとして使用できるELR巻き取り装置のことです。 	通常は、ELRベルトとして機能しますが、ベルトを全部引き出すとELR機能が解除され、ベルトを戻すと自動的にロックされるシートベルトです。また、ベルトをすべて戻したときにはELR機能に戻ります。	シートベルトを全部引き出すと危険です。ベルトを一度戻してチャイルドシート固定機能を解除してください。
<ul style="list-style-type: none"> ● ALR付きシートベルト … ALRとは自動ロック式巻き取り装置のことです。 	ベルトを引き出す途中で止めるとロックされ、それ以上引き出されなくなるシートベルトです。	使用できません。
<ul style="list-style-type: none"> ● NLR付きシートベルト … NLRとは非ロック式巻き取り装置のことです。 	ロック機能のない巻き取り装置のことで、任意の位置で長さ調節して使用します。	ベビーシートに合わせてシートベルトの長さを調整し、固定してください。
<ul style="list-style-type: none"> ● マニュアル式シートベルト 	巻き取り装置の付いていないシートベルトのことです。	

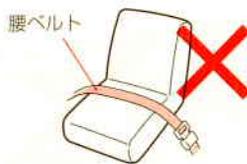
3点式シートベルトとは

図のように、腰ベルトの左右と肩ベルトの3点で体を支えるシートベルトのこと。



2点式シートベルトとは

図のように、腰ベルトの左右2点で体を支えるシートベルトのこと。



(2点式シートベルトには取り付けられません)

取り付けの準備 (~10kg未満のお子さまに)

車側の準備



- ① 背もたれを、10°～30°の角度にしてください。
- ② 高さ調節のできるヘッドレストは、一番下まで下げてください。
- ③ 引き出し位置を調節できるシートベルトは、一番低い位置にしてください。
- ④ 前座席に取り付ける場合は、座席を一番後ろまで下げてください。

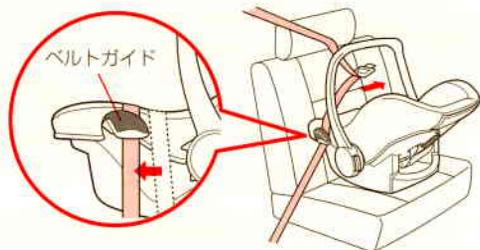
ベビーシートの準備



- ベビーシートのハンドルを立てた状態にしてください。
- このベビーシートは、必ず後向きに取り付けます。絶対に前向きでは使用しないでください。
- 車の取り付ける座席に、ベビーシートの底面をしっかりとつけて、置いてください。

座席への取り付けかた

- 1 車のシートベルトを引き出し、**腰ベルト**を、ベビーシート**両サイド**の**ベルトガイド**にはさみ込みます。

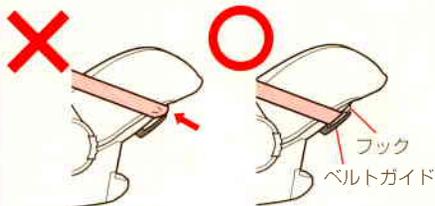


- 2 車の**肩ベルト**を、ベビーシート**背面**の**ベルトガイド**にはさみ込みます。

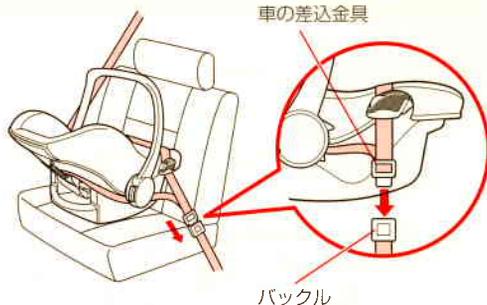


肩ベルトが、ベルトガイドのフックより下にしっかりと
はさみ込まれていることを確認してください。

警告



- 3 車の**差込金具**をバックルに差し込みます。



ポイント

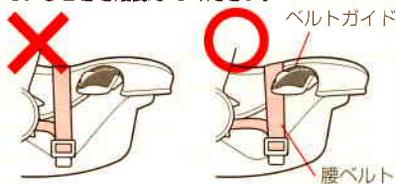
シートベルトの短い座席ではベビーシートを押し込みながらバックルを差し込んでください。

- 4 肩ベルト、腰ベルトのたるみをなくしながら引っ張り、ベルトガイドに取り付けられている**角度計**が**緑**の位置になるように調節してください。



腰ベルトが、両サイドのベルトガイドに、はさみ込まれていることを確認してください。

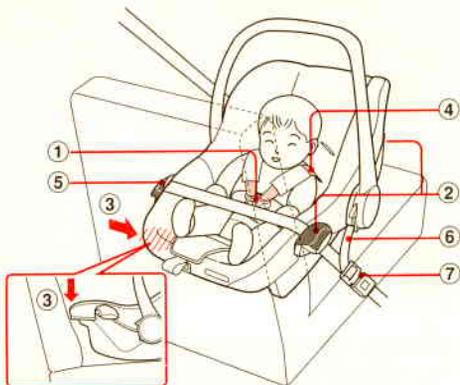
警告



座席への取り付けかた

取り付け時の完了チェック

取り付けが終わったら、ベビーシートがしっかり取り付けられているか、次のことを確認してください。



- ① ベビーシートの差込タンクがしっかりバックルに差し込まれ、表示が緑色になっていること。
- ② 車のシートベルトが、青色の3つのベルトガイドに正しくはさみ込まれていること。
- ③ 車の背もたれとベビーシートの先端の接している部分に、すきまがないこと。
- ④ 幼児ベルトの調節が正しくされていること。
(15ページを参照)
- ⑤ 角度計が緑の表示を指していること。
- ⑥ お子さまを乗せた状態で、車のシートベルトにゆるみのないこと。
- ⑦ 車のシートベルトの差込金具が、しっかりバックルに差し込まれていること。

ベビーキャリアと兼用でご使用の場合

お子さまを乗せたままでも、車への取り付け、取りはずしが可能です。



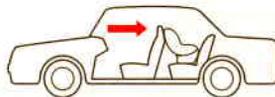
これらの項目を確認し、しっかりと取り付けできない場合は再調節してください。それでもしっかり取り付けできない場合は、他の座席に取り付けてください。本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

こんなときには

ベビーシートを、より確実に固定する方法

●後座席に取り付けた場合

車の前座席を後ろにスライドさせ、ベビーシートの背面に接するようにしてください。ただし、接することができない場合は、できるだけ前座席を前にスライドさせてください。

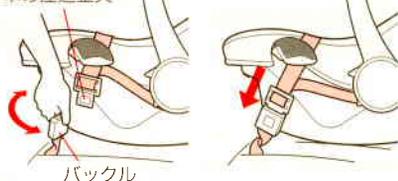


エアバッグが装着された座席では使用しないでください。エアバッグの作動による衝撃で、危険な状況になります。(装備されているのがサイドエアバッグのみの場合には使用できます)

差込金具が、ベルトガイドに当たり不安定な場合

差込金具がベルトガイドに当たり、しっかり取り付けできない場合は、図のように対応してください。

車の差込金具



バックル

- 1 差込金具をはずしてバックルを持ち、バックル側のベルトに1～3回ひねりを加えて短くします。
- 2 もう1度差込金具をバックルに差し込み、固定します。



ひねりを加えてもしっかり取り付けられない場合は、使用しないでください。本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

ポイント



ひねりを加えて取り付けしたあとに、ベルトがベルトガイドからはずれやすくなった場合は、バックルを反対側にひねって取り付けしてください。

ベビーキャリーとして使う

お子さまの乗せかた、幼児ベルト通し穴の選びかた、幼児ベルトの長さの調節のしかたは、13~15ページを参照してください。

⚠ 警告

- お子さまを乗せるときは、必ず幼児ベルトを装着し、**差込タンクとバックルを固定**してください。
- **ハンドルを肩にかけて持ち運ばない**でください。お子さまを転落させたり、運んでいる方が転倒して、けがの原因となります。



- 階段、段差、坂道など、段差のある場所で**ぶつけない**ように**十分注意**してください。お子さまを転落させたり、運んでいる方が転倒して、けがの原因となります。



- ベビーシートを、テーブルやいすの上など、落下する危険性がある場所に置かないでください。転倒してけがの原因となります。



- 図のような持ちかたをしないでください。ハンドル位置が変わり、お子さまが落下するおそれがあります。



持ちかた

ハンドルを最も立てた位置にすると、お子さまをベビーシートに乗せたまま移動することができます。

- ハンドルを握ってもつ場合。



- ハンドルをわきにかかけ、もう一方の手で本体をつかむ場合。



⚠ 警告

ハンドルがわきからすべり落ちる可能性がありますので、必ずもう一方の手で本体をつかんでください。

ロッキングチェアとして使う

警告

次のような使いかたは、ベビーシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

- ロッキングチェアとして使用できる目安は、首がすわってから10カ月ころまでのお子さまです。首がすわるまでロッキングは使わないでください。
- ロッキングせずにチェアとして使用できる目安は、新生児～10カ月ころまでのお子さまです。上記月齢にあてはまらないお子さまはチェアとして使用できません。
- お子さまの足が床に着く場合は、ご使用をおやめください。
- 必ず、保護者の目の届く場所で使用してください。
- お子さまを乗せるときは、必ず幼児ベルトを装着し、幼児ベルトの**差込タンクとバックルを固定**し、ベルトにたるみがないよう調節してください。
- 車内では、ロッキングチェアとしての使用はおやめください。
- テーブルやイスの上など落ちる危険性がある場所や階段・段差・傾斜のある所、またタイルなどすべりやすい場所での使用はおやめください。転倒してけがの原因となります。



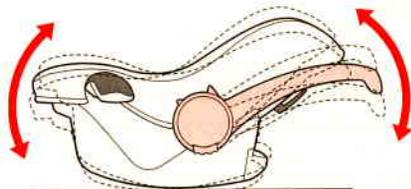
- ストープの近くや、落下物の心配のある場所での使用はおやめください。
- 2人以上のお子さまを乗せないでください。
- お子さまの乗せ降ろしは、必ず保護者が行ってください。
- お子さまが身を乗り出さないよう、注意してください。

お子さまの乗せかた、幼児ベルト通し穴の選びかた、幼児ベルトの長さの調節のしかたは、13～15ページを参照してください。

ロッキングの使いかた

ハンドルをロッキングチェアポジションにして、手で軽く押ししてください。

ベビーシートがゆっくりロッキングします。



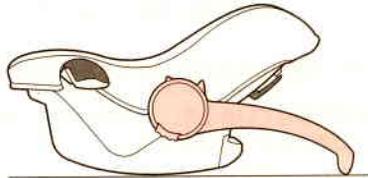
<ロッキングポジション>

警告

- お子さまの様子を見ながら押ししてください。
- 長時間のご使用はおやめください。

チェアの使いかた

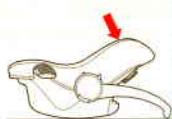
ハンドルを固定ポジションにするとロッキングしません。チェアとしてお使いいただけます。



<ロッキング固定ポジション>

警告

チェア状態で矢印の方向に強い力をかけると、ハンドルが破損するおそれがあります。強い力をかけハンドル位置が変わった場合、外観上の破損がなくても使用をおやめください。



ドゥキッズ4をお買い上げのお客様に

ご使用の前に

- この製品は、一般家庭でお子さまを乗せ、外気浴、日光浴、買い物などに使用するための1人乗りベビーカーです。
- 望ましい連続使用時間：1時間以内。

⚠ 警告 取り扱いを誤ると重大な事故につながるおそれがあります

乳幼児が落ちたり、ベビーカーが折りたたまれるおそれがあります。

- 開閉ロックが確実にかかっていること(ベビーカーが完全に開いた状態であるか)を確認してから使用してください。
- お子さまを乗せたままフロントガードやハンドルを持つなどしてベビーカーを持ち上げないでください。手がすべったり、はずれるおそれがあります。
- 階段、エスカレーター、段差のあるところ、また、砂場/砂浜/河原/ぬかるみなど悪路では、使用しないでください。
- 破損/異常が発生した場合は、当社お客様相談室にご連絡ください。

乳幼児が落ちるおそれがあります。

- お子さまを乗せるときは、必ず幼児ベルトの差込タンクとバックルを固定してください。
- お子さまをベビーカーの中で立たせないでください。
- ベビーシートの背面に強い力をかけないでください。

ベビーカーが転倒して乳幼児が落ちるおそれがあります。

- お子さまを乗せているとき、カゴ以外の所に荷物を乗せたり、つるしたりしないでください。
- 同時に2人以上のお子さまを乗せたり、シート以外の所に乗せないでください。
- ご使用中に、ハンドルに寄りかかったり、過度の荷重をかけないでください。

必ずベビーカーの取扱説明書もあわせてお読みのうえ、正しくご使用ください。

ベビーカーが動き出したり転倒するおそれがあります。

- お子さまや荷物の乗せたときには、ストッパーを過信しないでください。
- お子さまを乗せたまま、ベビーカーから離れないでください。
- ベビーカーは、空車であっても、坂の途中/車道に近い歩道上など、危険な場所に放置しないでください。

このようにしてお使いいただけます

- 体重：～10kg未満のお子さま。
- 参考年齢：新生児～1才ころ。

ベビーカーにベビーシートを取り付けて、ご使用いただけます。



- 体重：7.5kg以上～12kg以下のお子さま。
- 参考年齢：7カ月以上～2才ころ。

ベビーシートをはずし、付属の脱着シートを取り付けてご使用いただけます。



ワンポイント



セットした状態での取り扱いかたは、ベビーカーの取扱説明書をご覧ください。

ベビーカーへの取り付けかた

- 1 ベビーカーを開き、ガードが取り付けられていること、ストッパーがかけられていることを確認する。

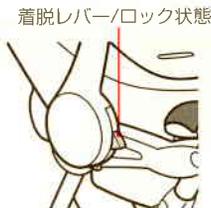


- 2 ベビーカーの進行方向に対して、ベビーシートを後向きに置いて準備する。

- 3 ハンドルを持ってベビーシートを持ち上げ、ベビーカーの真上から、「カチッ」と音がするまで押し込む。



- 4 ベビーシートを軽く持ち上げ、確実に左右がロックされていることを確認する。



警告

- ハンドルを寝かした状態では使用しないでください。
- パイプとベビーシートのすき間に、指をはさまないように注意してください。
- ベビーカーの進行方向に、前向きに取り付けしないでください。

ベビーシートのはずしかた

- 1 左右の着脱レバーを、止まるまで引き上げる。

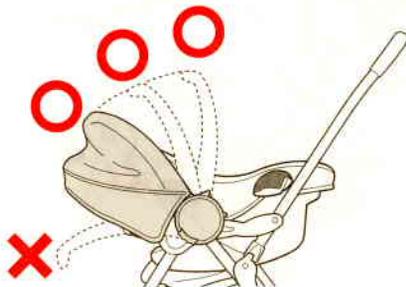


- 2 ハンドルを持ち、ベビーシートを真上に引き上げて、ベビーカーからはずす。



ハンドルと幌の使いかた

ハンドルと幌は図の位置3段階で使用してください。



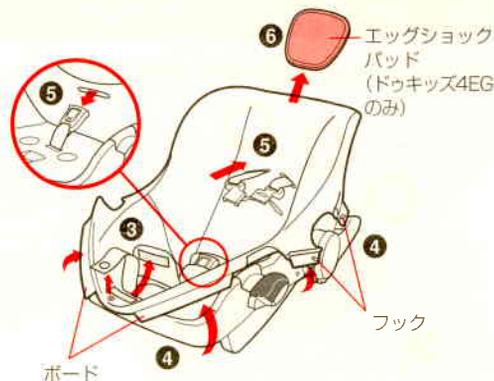
お手入れのしかた

シートクッションのはずしかた

- ① バックルボタンを押して差込タングをはずし、肩ベルトカバー、インナークッションを引き抜きます。
- ② インナークッションからパッド(2個)を取りはずします。



- ③ 調節ベルトのカバーをはずし、調節ベルトをホックからはずします。
- ④ 側面のフック(4カ所)と先端のボードをはずします。
- ⑤ 本体からシートクッションをはずし、幼児ベルトとバックルを引き抜きます。
- ⑥ インナークッションもしくはシートクッションから、エッグショックパッドを取りはずします。



シートクッションの取り付けかた

- ① インナークッションもしくはシートクッションにエッグショックパッドを取り付けます。(ドゥキッズ4EGのみ)
- ② 先端のボード(2カ所)を引っかけます。
- ③ シートクッションを本体の上にかへ、側面のフック(4カ所)にひっかけます。
- ④ インナークッションを使用するときは、幼児ベルトにインナークッションをかぶせます。
- ⑤ 幼児ベルトに肩ベルトカバーをかぶせます。
- ⑥ 左右の差込タングを組み合わせてバックルに差し込み、調節ボタンを押しながら調節ベルトを引いて、左右の幼児ベルトが調節できることを確認します。

シートクッション、肩ベルトカバー、インナークッション、鞆の洗いかた

洗濯時は次のことを守ってください。
※エッグショックパッドは洗濯できません。

	液温は30℃を限界とし手洗いしてください。
	塩素系漂白剤は使用しないでください。
	アイロン掛けはしないでください。
	ドライクリーニングはしないでください。
	手絞りの場合は弱く、洗濯機脱水の場合は短時間で行ってください。強く絞ると、シワが残ることがあります。
	日陰で平干してください。

※インナークッションを洗濯するときは、背面と座面に入っているパッドを抜いてください。また、ドゥキッズ4EGの場合は、エッグショックパッドも取りはずしてください。

※蛍光増白剤を含まない洗剤を使用してください。

お手入れのしかた

本体、幼児ベルトのお手入れ方法

通常はかたく絞った布で水拭きしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落としてから水拭きし、日陰で乾燥させてください。



中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤の使用はおやめください。本体および幼児ベルトをいためるおそれがあります。

保管のしかた

●取扱説明書

取扱説明書(本書)は、よくお読みのうえ、シートクッション後ろ側のポケットに保管してください。

●本体

長期間使用しないときは、車から降ろし風通しが良く、お子さまの手の届かない場所に保管してください。

製品仕様

製品サイズ	： (W)435×(D)690×(H)346mm (チェア状態)
製品質量	： 3.1kg
主な材質	： 本体…ポリプロピレン シートクッション 表生地…ポリエステル クッション材…ウレタンフォーム